

県に予算編成の要請活動を実施！

～5分野18項目について施策の実現を求める～

連合福島は、12月15日、今泉裕会長、児玉伸行、鈴木三男、生亀勝行、須藤 政浩、小野利市各副会長、そして加藤光一事務局長らが、県庁知事室にて本県の復興・再生と県民生活の安全・安心に向けた「福島県平成27年度予算編成に対する政策・制度の提言」の要請書を内堀雅雄知事に手渡した。

要請内容は、産業・雇用・労働関連政策や子育て・教育、医療・介護関連政策など、5分野18項目について施策の実現を求めるものである。

要請に際して今泉会長は、「県の人口減少、過疎化の対策が重要であり、連合福島としても今後10年間の県の基盤を作るために取り組んでいきたい」と述べ、それに対し内堀知事からは、「福島を元気にして、一緒に明るい未来を作りたい。大事なのは働く場の確保であり、それが県の政策のど真ん中である。」と話があった。

今後は、県の各担当部局から回答が出され次第、その内容を精査し、施策の実施状況の確認等フォローアップを実施することとしたい。



内堀知事に要請を手渡し意見交換する連合福島代表団の皆さん

～東日本大震災福島子ども寄付金に170万円を寄付～



内堀知事(中央左)に寄付金目録を手渡す連合福島今泉会長(中央右)

連合福島の今泉裕会長は要請活動の同日、福島県が震災孤児等への支援のために開設している「東日本大震災福島子ども寄付金」に寄付するため、寄付金の目録を内堀知事に手渡した。

寄付金は、今春各地区で開催された第85回メーデー開催時に、組合員から寄せられた浄財170万円で、内堀知事からは「被災した子どもたちを長期的、継続的に支援していくために、有効に活用させていただく。」との感謝の言葉があった。

ご協力いただいた組合員の皆さんに、心から感謝申し上げます。